

R241(音更大通)通信

より利用しやすく安全な道に

このニュースレターは、「国道241号（音更大通）に係る交通課題検討のための懇談会」の検討内容を地域の皆様にお知らせするために作成し配布しているものです。

第6回懇談会
平成25年10月23日に第6回懇談会を開催しました。国道241号の交通課題解決に向けた短期的な改善策に対して、今年度の現地調査を踏まえた対策効果の検証結果報告と、これに関する意見交換を行いました。



■短期的な安全性改善策(平成24年11月整備完了)

幅広2車線区間		急激な車線減少区間 (右図 区間)
沿道出入りの少ない区間 (右図 区間)	沿道出入りの多い区間 (右図 区間)	
外側線を設置 (2車線の明確化)	外側線+中央ゼブラゾーンを設置	車線運用方法を変更

■安全性に関する検証

改善策の整備後における「安全性に関する検証結果」について報告を行い、議論しました。

目標	効果検証のポイント	効果検証結果(まとめ)と課題
安全性の向上	単純2車線区間 中央ゼブラゾーン	<p>改善!</p> <ul style="list-style-type: none"> 片側2車線の利用の抑制を確認(整備直後から大幅な減少) <p>無理な片側2車線の利用や急ブレーキをかけなければならない状況が大幅に減少</p> <p>改善!</p> <ul style="list-style-type: none"> 急ブレーキ操作車両の減少を確認(整備直後から大幅な減少) <p>後続車からの追突を回避する中央ゼブラゾーン活用が促進</p> <p>改善の余地あり</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央ゼブラゾーン活用の促進を確認 活用されていないケースも散見(沿道施設右折利用車の1割程度)
	増減区間 急激な車線	<p>改善!</p> <ul style="list-style-type: none"> 適正な車線運用の浸透に伴い、急ブレーキ操作車両の減少を確認 <p>適正な車線利用で、急な車線変更が抑制され、急ブレーキをかけなければならない状況が大幅に減少</p>

■今後の対策の方向性～安全性の更なる向上に向けて

◇再確認された課題

- 中央ゼブラゾーンを活用されていないケースが散見(沿道施設右折利用車の1割程度)

◇対策の方向性

- 中央ゼブラゾーンの一層の活用 → 適正利用に向けた更なる周知・徹底
- チラシ・ポスターによる周知 → 「より利用しやすく安全な道に」を目指した対策を実施し、課題を一つ一つ解決していきます。



円滑性に関する検証

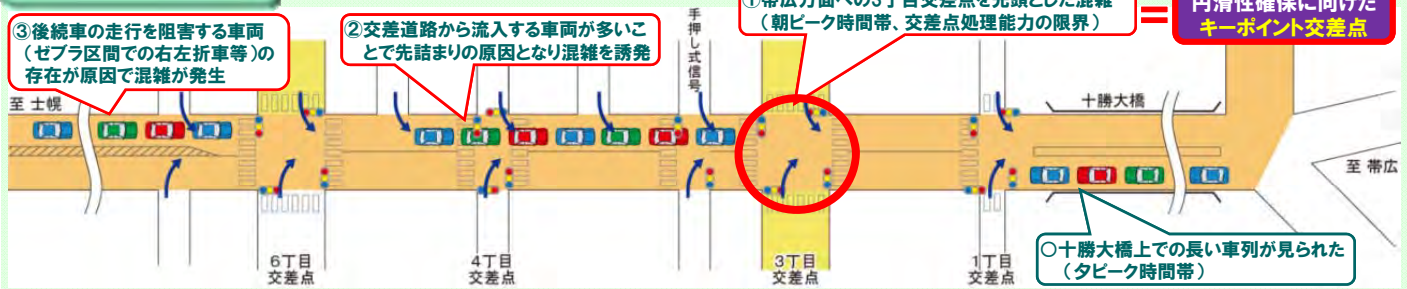
改善策の整備後における「円滑性に関する検証結果」について報告を行い、議論しました。

目標	効果検証のポイント	効果検証結果（まとめ）と課題
円滑性の確保	通過に要する間の変化 主な交差点での交通混雑状況の変化	<p>平日</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇土幌→帯広方面 <ul style="list-style-type: none"> ・朝ピーク時間帯に3丁目交差点を先頭とした混雑 ・6丁目交差点でも先詰り(交差点通過地点も込んでいる)に伴う混雑発生 <p>休日</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇帯広→土幌方面 <ul style="list-style-type: none"> ・日中後に12丁目交差点で混雑が見られたが、整備前・整備直後に比べ混雑は減少傾向
		<ul style="list-style-type: none"> ・後続車の走行を阻害する車両（交差点左折車）の存在 ・国道と交差する道路から流入する車両が多く、3丁目交差点の交通処理が限界 ・中央ゼブラゾーンを活用しきれっていない右折車の存在 ・更に中央ゼブラゾーンが活用されるようになることで円滑性が改善される可能性が高い



今後の対策の方向性～円滑性確保に向けて

◇再確認された課題



◇対策の方向性

- ①3丁目交差点対策
 - ②交差道路から国道への流入車両対策
 - ③中央ゼブラゾーンの一層の活用
- 必要な調査を引き続き実施し、効果的・効果的な対策を検討・実施
- 適正利用に向けた周知・徹底
- 「より利用しやすく安全な道に」を目指した対策を実施し、課題を一つ一つ解決していきます。

懇談会における主なご意見

	主な意見	今後の対応・対策
安全性確保	<ul style="list-style-type: none"> ・中央ゼブラゾーンは有効な使われ方がされているが、まだ活用方法を理解していない人がいるようだ。 ・冬期の安全性確保のためにも、外側線部分も含めた中央ゼブラゾーンの除雪等路面管理をしっかりと行ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央ゼブラゾーンの適正利用に向けた周知・徹底を図ります。 ・適切な除雪の実施等、冬期路面管理を徹底します。
円滑性確保	<ul style="list-style-type: none"> ・3丁目交差点は、朝ピーク時間帯の混雑によって通勤・通学などの時間的制約を持った交通に対しネックになっており、今後改善が必要な交差点である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑性確保に向け、必要な調査を引き続き実施し、効果的・効果的な対策を検討・実施していきます。
今後に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・今回見えてきた課題を解決し、安全で円滑な「より良い道路空間」を目指すためには、課題解決に向けた「改善策の実施」「改善効果の検証」「課題の再確認」を積み重ね継続的に改善を図っていくことが重要。 ・大型店舗出店後の交通動向も検証していく必要がある。 ・今後もこの道路を取り巻く周辺環境や交通状況の変化も確認・検証するとともに、周辺ネットワークを含めた改善策の検討を継続して行う必要がある。 ・地域の意見も反映しながら、一つ一つ課題を解決して行くことが重要であり、当懇談会の役割である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き必要な調査を実施し、当懇談会で意見交換を行いつつ、「より利用しやすく安全な道に」を目指した対策を検討・実施していきます。 ・今後も当懇談会を開催し、地域の皆様のご意見を伺いながら課題を解決をしていきます。

今後も引き続き懇談会を開催し、地域及び道路利用者の皆様と意見交換を行っていく予定です。

■ご意見・お問い合わせ先

【事務局】 音更町建設水道部 都市計画課
北海道開発局帯広開発建設部 道路計画課

TEL:0155-42-2111 / FAX:0155-42-2142
TEL:0155-24-4106 / FAX:0155-22-4294